1608110－2

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊
＊　　＊
＊　駐車場ＰＨＳ端末　＊
＊　　＊
＊　型式：ＫＳ５０　＊
＊　　＊
＊　取扱説明書　＊
＊　　＊
＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

版名	変更月	符号

平成１１年　３月

株式会社　ケイシン

ご使用の前に

(1)本書におけるすべての著作・出版権は、株式会社ケイシンに帰属します。
本書の内容の一部、または全部を当社の許可なく、複製、複写、転載することは、法律で認められた場合を除き、著作、出版社の権利の侵害となります。
本書は、駐車場料金システムの運用、管理及び、システムの保守等をされる方を対象に、本製品の取扱を記述致します。
製品の取扱を誤ると、故障や事故の原因になります。ご使用前には、本書を必ずお読み頂き、正しくご使用頂きますように、お願い申し上げます。
本書は、必要なときすぐに取り出して読めるように、身近なところに保管して下さい。

(2)改良のため、予告なく仕様を変更することがあります、本書の内容と一部異なる場合がありますが、予めご了承下さい。
仕様の範囲/オプション/仕様等の変更により、本書の内容(特に図解、挿絵等)が実物と一致しない場合がありますので、ご了承下さい。

(3)当社では、本書に記載している手順や注意事項に従わなかったことに起因する、事故や損害に関して、いかなる責任も負いかねますので、予めご了承下さい。

(4)本機を保管、廃棄するときは、必ず当社までご連絡下さい。

安全にお使い頂くために　1

本取扱説明書では製品をより安全に使用していただくために 注意事項を次のような表示と記号を使用して記述しています。ここで示した表記の内容は、安全に関する重大な内容を含みますので、必ず遵守してください。

表示	意味
警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負ったり、重大な物的損害が発生する恐れがある内容を示します。
注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり物的損害が発生するおそれがある内容を示します。

図記号	意味
	安全にお使いいただくために、してはいけないことを意味します。このような使い方は傷害や損害の原因になることがあります。
	安全にお使いいただくために、実行していただくことを意味します。これを実行しない場合傷害や損害の原因になることがあります。

安全にお使い頂くために　2

装置の安全性には十分配慮して製造されていますが、万が一危険が生じた場合は、電源スイッチを「ＯＦＦ」にし、保守会社までご連絡ください。

電源「ＯＮ」にしたままで装置内部に触れない

清掃、トラブル対処などで各部電気配線に
触れるときは、必ず精算機の電源スイッチを
「ＯＦＦ」にしてください。

ＰＨＳの出し入れは慎重に　⚠注意

ＰＨＳを引き出すとき、または本体に
収納するときは、電源を切り、しっかり本体を持ち、
もう一方の手でささえながら、静かに行ってください。
無理に引き出したり、押し込んだりすると
怪我や、機器破損の恐れがあります。

車両に注意　⚠注意

機器の日常点検、異常処理をするときは
車両に十分注意してください。
車路に出て操作すると車両・人身事故の危険性が
あります。

⚠ 安全にお使い頂くために　3

ゲートの操作は慎重に　⚠警告

ゲートを遠隔で操作する場合、インターホンで会話をしながら、安全を確認した上で、慎重に操作して下さい。車両・人身事故の危険性があります。

電波障害について　⚠注意

本システムは、周囲の電波状況や、回線の使用状況により、音声が聞き取りにくくなったり、話中になったりして通信できなくなる場合があります。又、住宅またはその隣接した地域で使用すると、ラジオ、テレビジョン受信機等に受信障害を与えることがあります。
添付されている“ＰＨＳ無線カード「ＴＬ－Ｄ１０１／ＴＤ」”の取扱説明書の内容をよく理解して、ご使用下さい。

ご使用に際し　⚠注意

本装置は、公衆ＰＨＳ端末として、無線を使用し通報／送受信を行うもので、電波のとどかない場所や外来電波により、正常に通報が行われず、未通報でありながら、通報完了となる場合があります。
駐車場機器等の監視・連絡を目的としており、人身事故・災害事故・物的損害事故等の防止を目的とするものではありません。

取扱説明書の用語説明

名称／呼び名	意　　味
ＲＢＴ/ﾘﾝｸﾞﾊﾞｯｸﾄｰﾝ	送信時の呼び出し音。 （有音部分２秒　・無音部分１秒）
ＢＴ　/ﾋﾞｼﾞｨﾄｰﾝ	送信先が通話中の音声。 （有音部分０．５秒・無音部分０．５秒）
ＰＨＳ/ﾊﾟｰｿﾅﾙﾊﾝﾃﾞｨﾎﾝｼｽﾃﾑ	簡易型携帯電話機。
公衆	一般電話回線。 （他に事業社用構内回線やトランシーバ回線などがある。）
ＤＴＭＦ/ ﾃﾞｭｱﾙﾄｰﾝﾏﾙﾁﾌﾚｹﾝｼｰ	プッシュ仕様の電話機より出る、ピッポッパ音。 （簡易データ通信を行って、データ設定、リレー動作などを行います。）
一般車	出庫時に、その都度料金精算をする車両。
契約車	月契約などで、料金を前納している車両。
補正台数	契約車の空スペースを、一時的に一般車スペースとして有効に活用する為の台数。
満車予告通報	駐車場が満車状態になる以前に、通報する事。
カーゲート開	必要に応じて、強制的にカーゲートを開く事。

Ｐメールとは

Ｐメールとは、Ｐメール対応仕様のＰＨＳ電話機を、双方で使用し、文字メッセージを送受信することです。但し、メール対応機種でない電話機への送受信は、音声通話のみとなります。又、送信先が留守番電話サービス使用時は、送信できません。

音声による、送受信に比べると、通信時間・通信料金は、少なく経済的です。
（Ｐメールは、１通信当たり１秒で、料金は１０円と、大変お徳です。）
但し、文字作成などの準備は必要となります。
受信された文字メッセージの発信元・日付・時刻が確認、保存出来ます。
機種によっては、１００件のデータを保存することが、出来ます。
１回に合計２０文字までの、カタカナ・英字・数字・記号が送受信できます。
頻繁に使用する文字メッセージは、事前登録をして、送信時に使用すると便利です。
本システムは、ＤＤＩポケット電話、又は、セルラーグループの携帯電話「たのしメール」でも使用できます。
（但し、ＤＤＩポケット電話グループでも、ＰメールＤＸ・文字ＴＥＬなどは、使用出来ません。）

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊　目　次　＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

１．概要 …… １
２．各部の説明 …… ２
３．ディスプレイの説明 …… ３
４．キーボードの説明 …… ４
５．機能説明 …… ５～　６
６．駐車台数の動き …… ７～１０
７．異常通報説明 …… １１～１２
８．インターホン通報 …… １３
９．満車予告通報説明 …… １４～１５
１０．補正台数設定の説明 …… １６～１７
１１．空車ガイド応答 …… １８
１２．遠隔カーゲート開操作 …… １９
１３．他のＰメール操作方法 …… ２０
１４．使用上の注意 …… ２１

１．概要

この度は、「駐車場ＰＨＳ端末」をお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。御使用の前に、この取扱説明書をよくお読み頂き、効率的な駐車場運営に、御利用下さい。

１．特長

Ａ．外部の電話機より、補正台数を、一般空車台数にプラスし、調整することで、一般車の駐車可能台数を、増やす事が可能です。
これによって、より合理的な駐車場経営を行い、売上増加に貢献します。

Ｂ．自動駐車場システムの異常発生等を、自動的に外部電話機へ通報します。
通報形態を、音声通報とＰメール送信の２種類より選択できます。

Ｃ．利用者が、駐車場システムのインターホンを使用した際、外部の電話機への通報状態となり、ハンズズフリー会話ができます。又この時、外部の電話機からのＤＴＭＦ信号で、内部リレーをワンショツト動作させ、ゲート開などの 遠隔操作を行い、リアルタイムでクレーム処理が出来ます。

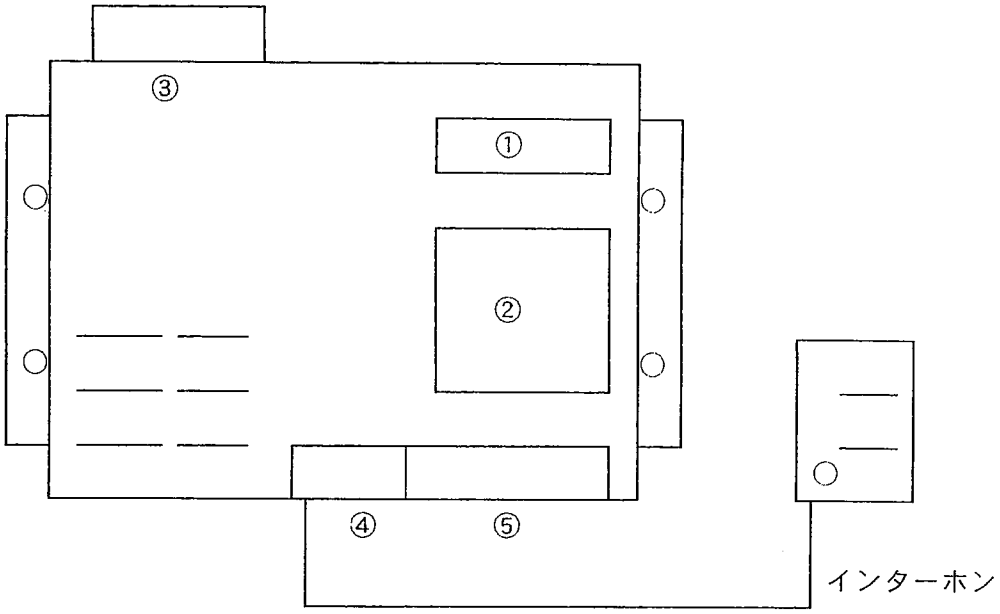
Ｄ．利用者が駐車場ＰＨＳ端末へ電話をかけると、その時点での駐車状況を、音声案内で聞く事が出来ます。（満車・設定レベル１・設定レベル２・設定レベル３のスリーポイントで、回答します。）

Ｅ．駐車場が満車状態になる前に（予めセットされた満車予告台数）、外部の電話機へ、満車予告を通報します。
通報形態を、音声通報とＰメール送信の２種類より選択できます。

Ｆ．外部の電話機より、Ｐメールデータを送信し、下記の動作を行います。
（１）データ要求　（現在の駐車状況を、５秒後にＰメール送信してきます。）
（２）通報先変更（メール機能使用時）
（３）内部リレーのワンショットッ動作
（４）補正台数の変更
（５）駐車場データの変更・調整（メール機能使用時）
（６）異常通報時のＰメール・文字データ設定（メール機能使用時）

Ｇ．使用しているＰＨＳ電話機は、ＤＤＩポケット電話「安心だフォン」です。
回線の基本料金は月額９８０円で、ランニングコストが安くて済みます。
又、初期費用も、電話工事費等が掛かりませんので、経済的です。

２．各部の説明



１．液晶ディスプレイ

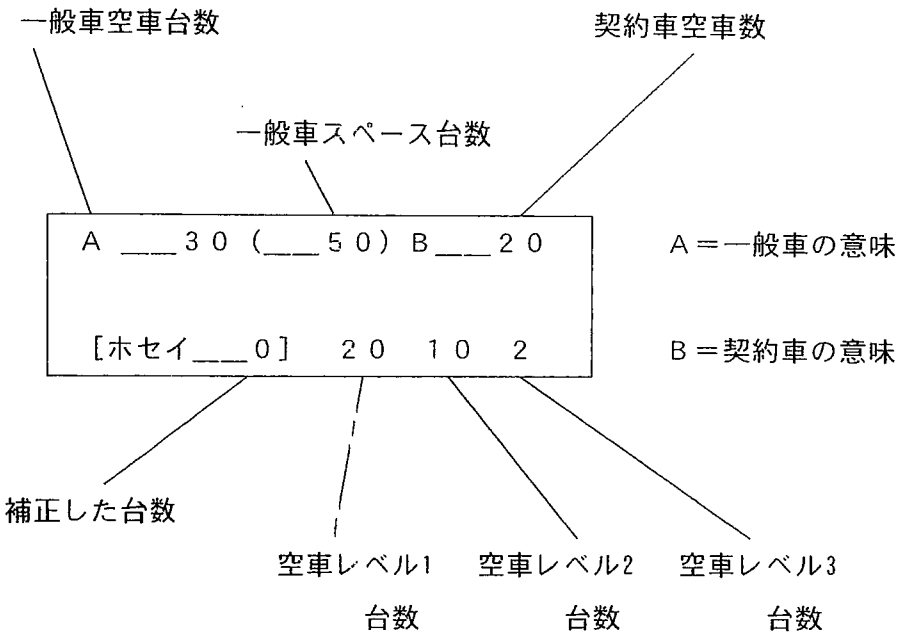
２．キーボード及び設定用ディップスイッチ

３．ＰＨＳカード

４．端子台（ＣＮ１）　ＡＣ１００Ｖ・接点出力×３

５．端子台（ＣＮ２）　異常７接点入力・入出庫信号入力

３．ディスプレイの説明



説明

（1）一般車空車台数 ＝ 一般車の空車台数

（2）一般車スペース台数 ＝ 一般車が入れる総台数

（3）契約車空車台数 ＝ 契約車の空車台数

（4）補正した台数＝一般車スペースを拡大するために、契約車スペースを減らし一般車スペースに加算する台数。

（5）空車レベル１台数＝「十分に、空いております」をガイドする台数。

（6）空車レベル２台数＝「１０（変更可）台程度」をガイドする台数。
１０台も含まれる。
（このレベルは１９～１０台の間）

（7）空車レベル３台数＝「５（変更可）台程度」をガイドする台数。
５台も含まれる。
（このレベルは９～２台の間）

１台や０台は「満車となっております」になります。

⚠ 注意 ❗

初めて設置する時に、キーボードから、一般／契約車データを入力します。
入出庫により、表示部はそれぞれ変化します。

4．キーボードの説明

1	2	3	4
5	緊急 通報	一般 入庫	一般 出庫
契約 入庫	契約 出庫	6	7

⚠ 注意 ⃠

1．2．3．5のキーは設定の時に使用しますが、通常運転時では異常通報のテストキーとして、使用します。
運転時に、誤って押すと、異常通報が開始されます。

4-1.キーボードによる在庫調整

始めて設置する時や、契約車／一般車の台数が合わない時、又は、端末が故障し、一般車空車台数・契約車空車台数の実台数を合わせる時に一般入庫／一般出庫／契約入庫／契約出庫／キーを使用して調整します。
各キーは、各出庫信号入力、各入庫信号入力と同じ動作をします。
一般車空車台数・契約車空車台数の増減を、このキーを押して調整します。出庫キーは空車台数を増加させ、入庫キーは空車台数を減らします。

５．機能説明

５-1.異常通報を受ける。［音声またはＰメール］

精算機より出力の、異常７接点を、予め設定された通報先に通報します。通報は異常出力がＯＮになった時に行います。

機能の操作方法☞ 異常通報説明　７項を確認

５-2.インターホンを受ける。［音声］

利用者が精算機内蔵インターホンの押しボタンスイッチを押す事により、予め設定された通報先に通報されます。

発信元を音声確認した上で、利用者と直接、ハンズフリーで会話が出来ます。

又、外部電話機からのＤＴＭＦ信号で、ゲート開を遠隔操作作出来るので、クレーム処理のスピードアップや、利用者へのサービス向上も計ります。

機能の操作方法☞ インターホン通報説明８項を確認

５-3.満車予告通報を受ける。［音声またはＰメール］

設定された満車予告台数になったら、指定された通報先に通報します。これは満車状態になる前に、警告することです。この時、契約車の空スペースを、一般車に移行し、一搬車スペースを拡大します。

機能の操作方法☞ 満車予告通報説明９項を確認

５-4.外部電話機で補正台数を設定する。［音声またはＰメール］

補正台数を設定することにより、

一般車の駐車収容台数を増減出来ます。

機能の操作方法☞ 補正台数設定説明１０項を確認

５-5.駐車状況を確認する。［音声またはＰメール］

利用者からの、空車状況の問い合わせに応じて、音声案内を行い、サービス向上を計ります。

この時、外部電話機から「＊」キーを押すことにより、モード切替えを行い、補正台数を変える事も出来ます。

機能の操作方法☞ 空車ガイド応答説明１１項を確認

５-６.電話機でカーゲートを開ける。［音声またはＰメール］

諸事情などで必要に応じ、利用者の車両を出庫させる。

機能の操作方法☞カーゲート開操作説明１２項を確認

５-７.電話機で通報先の設定変更をする。［Ｐメール］

必要に応じて、通報先の電話番号の変更を行います。

機能の操作方法☞ 通報先変更説明１３．１項を確認

５-８.端末上のキーボードによる在庫調整　［置数］

初期設置のとき、実台数の調整を行います。

機能の操作方法☞ キーボード説明４．１項を確認

５-９.Ｐメールのみの機能　［Ｐメール］

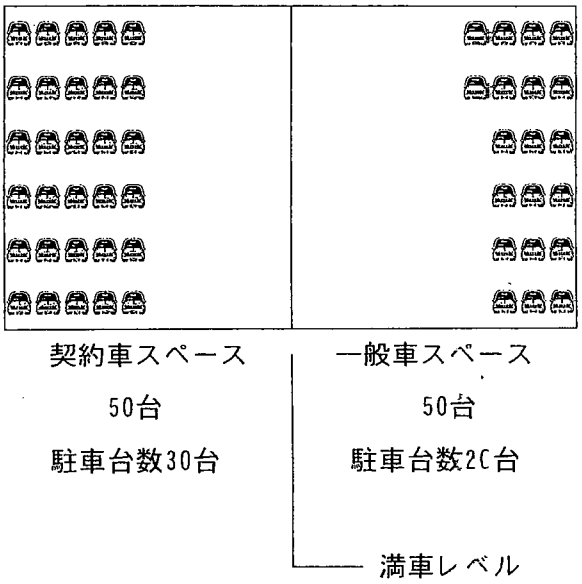
Ｐメールを利用した各機能の説明

機能の操作方法☞ 他のＰメール操作方法１３項を確認

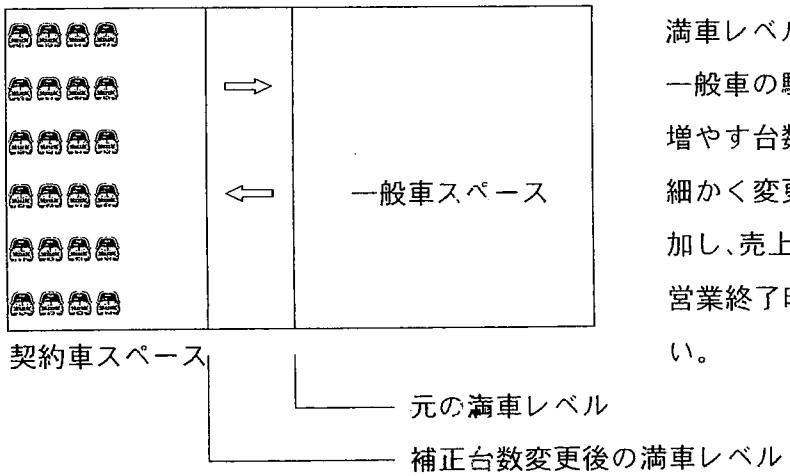
６．　駐車台数の動き

（通常運転時における、駐車場の状況説明）

ＡＭ１０：００　（通常状態）



総駐車台数１００台の駐車場があります。契約車が５０台、一般車５０台の構成となっています。
満車予告台数は２台となっています

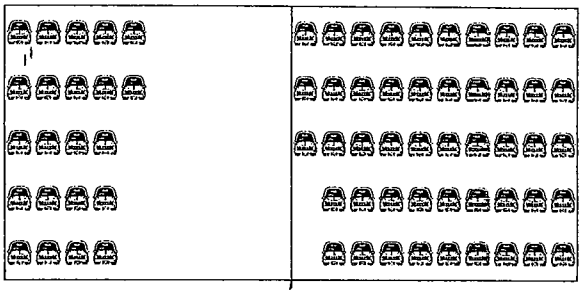


契約車の駐車空状況を把握し、満車レベルを変更することによって一般車の駐車スペースを増やします。
増やす台数を補正台数と呼びます。
細かく変更すると、一般利用車が増加し、売上アップに貢献します。
営業終了時は、元にもどしてください。

参考

各時間帯の契約車の空車台数や、入出庫状況を十分に調査し、契約車の駐車状況を把握する必要があります。

ＰＭ１：００　　（満車予告状態）

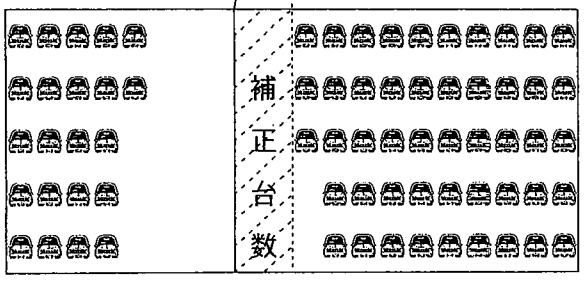


契約車スペース
50台
駐車台数22台
空車台数28台

一般車スペース
50台
駐車台数48台
空車台数 2台

契約車　２２台
一般車　４８台
の構成となりました。空車台数が
満車予告台数の２台になったので
満車予告通報をします。

ＰＭ１：０５　　（通常状態）

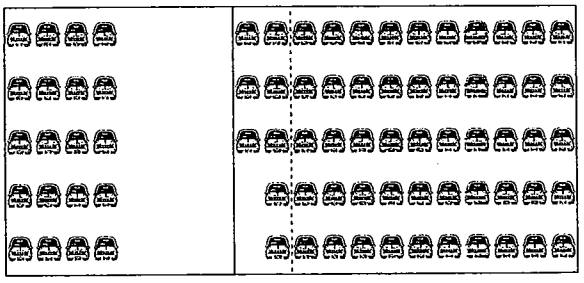


契約車スペース
40台
駐車台数22台
空車台数18台

一般車スペース
50台＋補正台数10台＝60台
駐車台数48台
空車台数12台

契約車　２２台
一般車　４８台
の構成は変化せず。
外部の電話機より、補正台数を、
１０台に設定しました。
一般車のスペースを増加させます。

ＰＭ２：３０　　（満車予告状態）

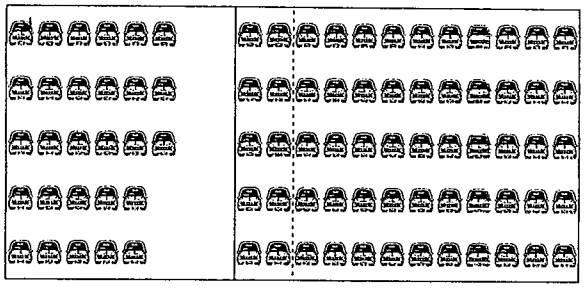


契約車スペース
40台
駐車台数20台
空車台数20台

一般車スペース
50台＋補正台数10台＝60台
駐車台数58台
空車台数 2台

契約車　２０台
一般車　５８台
の構成となりました。
満車予告台数が２台になったので
満車予告通報をします。補正台数は
外部の電話機より、補正台数を再
設定しませんでした。

ＰＭ３：００　　（満車状態）



契約車スペース　　一般車スペース

40台　　50台＋補正台数10台＝60台

駐車台数28台　　駐車台数60台

空車台数12台　　空車台数 0台

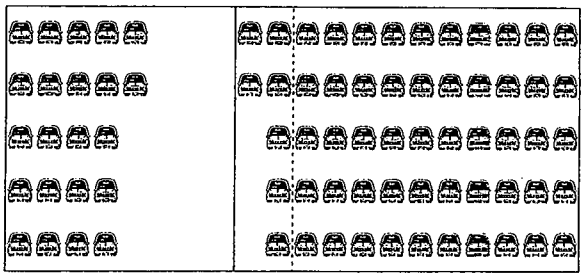
契約車　２８台

一般車　６０台

の構成となり満車となりました。

満車表示をし、駐車券の発行停止。

ＰＭ３：３５　　（通常状態）



契約車スペース　　一般車スペース

40台　　50台＋補正台数10台＝60台

駐車台数22台　　駐車台数57台

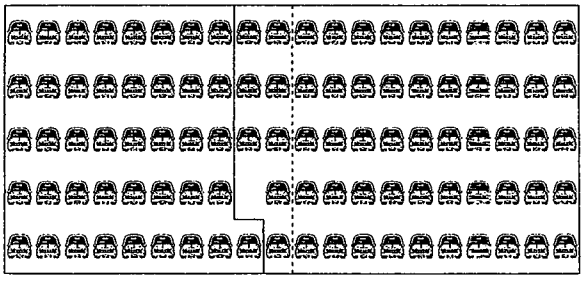
空車台数18台　　空車台数 3台

契約車　２２台

一般車　５７台

の構成となりました。満車予告は空車台数が一旦、満車予告台数の２台以上に増え、再度、満車予告台数にならない限り、通報しません。満車予告台数は、満車台数と接近した台数にすると、頻繁に通報を行うので、十分に考慮の上、駐車場規模などに応じて設定すること。

ＰＭ４：００　　（契約車オーバー状態）



契約車スペース　　一般車スペース

41台　　50台＋補正台数　9台＝59台

駐車台数41台　　駐車台数58台

空車台数 0台　　空車台数 1台

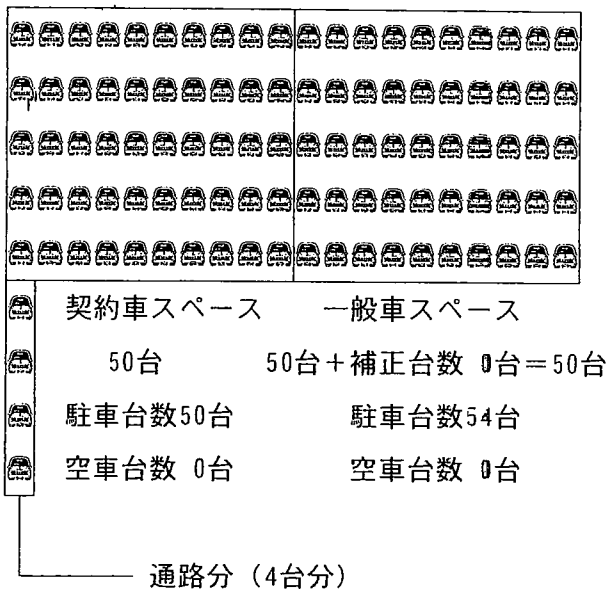
急に契約車が帰り４１台になります。

契約車　４１台

一般車　５８台

の構成となりました。装置が補正台数を－１し、契約車のスペースを＋１して、一般車のスペースを１減少する。

ＰＭ４：１５　（一般車オーバー状態）



更に急に契約車が帰り５０台になります。

契約車　５０台

一般車　５４台

の構成となりました。装置が補正台数を０にして、４台オーバーとなり、一般車が全部の車室に入っているので契約車は、一時、通路などで待機となります。

⚠ 注意 ❗

一般車オーバー状態にならない様にするためには、契約車の運用状況を確実に把握する必要があります。

駐車場データを、常に把握し、補正台数の細かい、設定運用が必要です。

満車予告台数は、満車予告台数付近で空車台数が＋／－変化すれば、その都度通報するため、満車予告台数は、駐車場規模を十分考慮して、設定する必要があります。

７．異常通報説明

７-1.音声通報動作

精算機の異常出力１～７が、１００ｍｓＯＮすると、設定されている
異常通報先に対して、電話をかけます。

（１）．正常発信　－－－＞着信

（２）．話中　１８秒後に再度、電話をかけます。
（相手が出るまで７回繰り返します）

（３）．無応答（２５秒たっても相手が出ない）
１８秒後に再度、電話をかけます。
（相手が出るまで７回繰り返します）

Ａ．着信　Ａ０．音声登録されている､駐車場名を言います。
Ａ１．異常出力に対応したメッセージを案内します。
Ａ２．「発生しました」
Ａ３．０．７秒ウエイト
Ａ４．異常出力に対応したメッセージを２回案内し、他にも異常出力があれば、２種類目のメッセージも案内します。
Ａ５．「発生しました」
Ａ６．０．７秒ウエイト。
Ａ７．ＤＴＭＦ音か、外部電話機が切れるのを、待つ。
Ａ８．通報を受け、必要に迫られて、カーゲートを開く場合
カーゲー ｰ開の操作を行ってください。
機能の操作方法☞＞カーゲート開操作説明１２項を確認

Ｂ．終話　（外部電話機が切れました）
終了します。

7-2. Ｐメール通報説明（Ｐメール設定時）

精算機の異常出力１～７が、１００ｍｓＯＮすると、設定されている異常通報先に対して、電話をかけます。

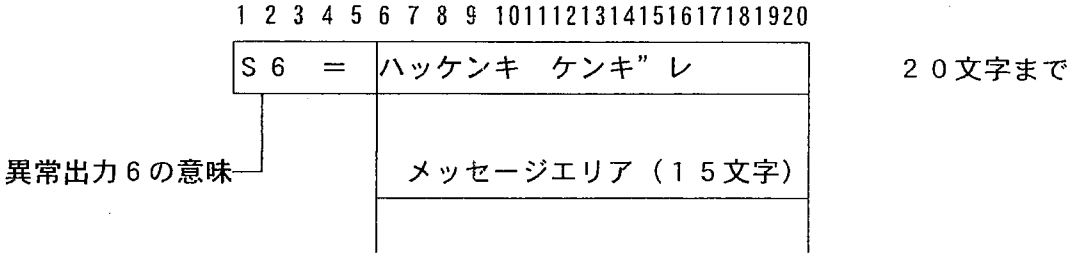
（１）．正常発信　－－－＞着信

（２）．話中　１８秒後に再度、電話をかけます。
（相手が出るまで７回繰り返します）

（３）．無応答（２５秒たっても、相手が出ない）
１８秒後に再度、電話をかけます。
（相手が出るまで７回繰り返します）

Ａ．着信　　Ｐメール送信は、電話番号とサブアドレスの２０バイト文字を同時に送信するので、着信した時点ですぐ、データ送信は完了です。

Ｐメールデータ



８．インターホン通報

８-1.動作説明

精算機内蔵のインターホンの、押しボタンスイッチが押されたら（１００ｍｓ）、設定されているの異常通報先に対し、電話をかけます。
インターホンのスピーカより「緊急通報を開始します」と音声案内し、着信までは、ＲＢＴ音が聞こえます。着信すれば音声登録されている駐車場名が、インターホンのスピーカより案内されます。

（１）．正常発信　－－－＞着信

（２）．話中　「話中です、もう一度押して下さい」と言って終了します。
利用者は、再度インターホンの押しボタンを、押す必要があります。

（３）．無応答（２５秒たっても、相手が出ない）
「応答ありません、もう一度押して下さい」と言って終了します。
利用者は、再度インターホンの押しボタンを、押す必要があります。

Ａ．着信　　Ａ０．音声登録されている駐車場名を言います。

Ａ１．利用者とハンズフリー会話状態となります。
ハンズフリーは、通常は精算機マイク－－＞外部電話機の状態で、外部が話すと、外部電話機－－＞精算機スピーカとなり、本機で通話方向を、切り替えて会話します。

Ａ２．ＤＴＭＦ音か、相手が切るのを待ちます。

Ａ３．通報を受け、必要に迫られてカーゲートを開く場合
会話中にカーゲート開の操作を、行ってください。
機能の操作方法☞カーゲート開操作説明１２項を確認

Ｂ．終話　　（外部電話機が切れました）
終了します。

⚠ 注意 ❗

インターホン通報時に、トラブルの内容により、利用者の車両を駐車場より、早急に出庫させたほうがよいと、判断した場合。
カーゲート開操作を行ってください。これは、一時的な対応であって、駐車場機器の異常がある場合、異常処理の対処を早急に行ってください。

９．満車予告通報説明

９-1.音声動作説明

一般車の空車台数が、予め設定された満車予告台数になれば、通報します。
必要であれば、補正台数を設定して、満車制御レベルの調整を行います。
これは補正台数の数値を、契約車の空車台数からマイナスし、一般車の空車台数に上乗せすることで、満車制御台数をアップします。

（１）．正常発信　－－－＞着信

（２）．話中　１８秒後に再度、電話をかけます。
（相手が出るまで７回繰り返します）

（３）．無応答（２５秒たっても、相手が出ない）
１８秒後に再度、電話をかけます。
（相手が出るまで７回繰り返します）

Ａ．着信　Ａ０．音声登録されている駐車場名を案内します。

Ａ１．「一般車のデータは」「０２０」「ピー」「０５０」
空車台数　スペース台数
空車台数が「０００」の場合は「満車です]

Ａ２．「契約車のデータは」「０２５」「ピー」「０４０」
空車台数　スペース台数

Ａ３．「シャープ（#）」「０３」
補正台数

Ａ４．外部電話機からの、２桁の数字と「＊」のＤＴＭＦ音か、外部電話機が、切れるのを待ちます。

Ａ５．通報を受け、そのまま補正台数を、変更する場合は外部電話機の「数字」と「＊」の押しボタンスイッチを押して下さい。
尚、押すタイミングは、メッセージが終わってからです。
機能の操作方法☞＞補正台数設定説明１０項を確認

Ｂ．終話　（外部電話機が切れました）
終了します。

9-2. Ｐメール通報説明

一般車の空車台数が、予め設定された、満車予告台数になれば
Ｐメール通報をします。

（１）．正常発信　－－－＞着信

（２）．話中　１８秒後に再度、電話をかけます。
（相手が出るまで７回繰り返します）

（３）．無応答（２５秒たっても、相手が出ない）
１８秒後に再度電話をかけます。
（相手が出るまで７回繰り返します）

Ａ．着信

Ｐメール

駐車場データ

１ ２ ３ ４ ５ ６ ７ ８ ９ 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20

___３８	___６１	___１６	[___５]
一般空車		契約空車	補正台数
一般スペース			

２０文字

１ ２ ３ ４ ５ ６ ７ ８ ９ 10

___３８	___６１
___１６	[___５]

実際のＰＨＳ電話機
の表示（１０桁２段の場合）

１０．補正台数設定の説明

１０-1.音声動作説明

満車予告通報時と、空車ガイド応答時からの２方法で行います。

Ａ．満車予告通報受信時からの変更

Ａ０．満車予告通報を着信

Ａ１．駐車場データを音声で確認

Ａ２．データ案内終了

Ａ３．変更したい台数を、２桁で入力します。

２桁の始めは、１０の単位、次は１の単位として判断し、２桁揃ったら、外部電話機へ発音するので、確認して下さい。

入力された数値が、契約車の空車台数より、減算できるかをチェックし、減算出来ない場合は「取り消しました」を案内し、新しい２桁の数字を待ちます。

Ａ４．正常な場合は、２桁の数字を確認し「＊」を入力します。

「＊」を受信したら数値を確定し、補正台数をメモリーに書いて、表示も更新されます。

Ａ５．更新した駐車場データを音声案内で受信(内容を確認します)

Ａ６．電話を切ります。　　終了

Ｂ．空車ガイド時からの変更

Ｂ０．空車ガイド要求を送信（電話をかけます）

Ｂ１．「お電話ありがとうございます、○○駐車場でございます」と音声で案内されます。

この音声の途中で「＊」を入力します。

その後は、満車予告通報時の Ａ１からＡ６までと同一方法で行います。

⚠ 注意 ❗

設定モードに移行する時、簡易セキュリティーの意味で、駐車場名案内中で、然も、その音と音の間(0.7秒)に「＊」を 入力する様になっています。
着信し、駐車場名案内が始まったら、すぐ「＊」を２・３回入力して下さい。
もし、設定モードにならずに終話したら、もう一度電話をかけ直して下さい。

１０-2.補正台数のＰメール送信

外部から電話機で設定する。

Ｐメール通報をします。

（１）．正常送信　－－－＞着信

送信Ｐメールデータ

1 2 3 4 5	6 7

ｄａｔ３：０５　　７文字

補正台数

入力された数値が、契約車の空台数より減算出来るかチェックを行い、減算出来ない場合は、無視されます。

⚠ 注意 ❗

補正台数のＰメール送信は、一方的にＰメールを送るだけで、送られたデータが更新されたかどうかは、確認できません。

他のＰメール操作方法の　13.2項目の駐車データ呼び出し方法で、再度Ｐメールを送って、駐車場データの確認を行って下さい。

１１.空車ガイド

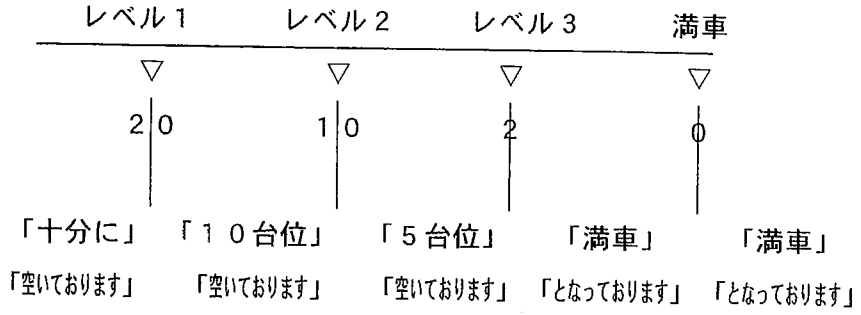
１１-1.動作説明

Ａ．着信　Ａ０．音声登録されている駐車場名を案内します。

Ａ１．「＊」のＤＴＭＦ音か、外部電話機が切るのを待ちます。

Ａ２．ガイドメッセージ（ＭＡＸ２０秒）を音声で案内します。

Ａ３．空車状況をチェック



４パターンの音声応答を流します。

Ａ４．管理者が、補正台数を設定変更する場合

機能の操作方法 ☞ 補正台数設定説明１０項を確認

Ｂ．自動終了します。

１２．遠隔カーゲート開操作

１２-1.動作説明　（ インターホン通報時に、通話をしながら操作を行います）

Ａ．着信　Ａ０．音声登録されている駐車場名を案内します。

Ａ１．利用者に状況を聞く（カーゲートを開く必要があると判断）

Ａ２．「７」を入力します。

入力されたら、ゲート開信号（リレー１）が、０．７秒間ＯＮします。この時外部電話機に、１６００Hzのシングルトーンが０．７秒間発音されます。「７」以外は無視されます。

Ａ３．ゲート開信号のシングルトーン音を確認します。

Ｂ．終話（外部電話機が切れました）　終了します。

１２-2.Ｐメール通信によるカーゲート開操作

ゲート開をする場合、このメールを外部電話機より送信します。

Ｘは小文字で入力して下さい。

１２３４５

ｄａｔｘ：

ゲート開信号出力（リレー１）

⚠ 警告 ⊘

カーゲートを遠隔で操作する場合、インターホンで利用者と話をして、ゲートの付近に、人や車がいない事を確認した上で 、操作を行って下さい。車両・人身事故の危険性があります。

１３．他のＰメール操作方法

１３．１ 通報先変更

駐車場管理者の休日や、警備会社への引き継ぎなどで、通報先を変更したい時に、操作してください。

１２３４５６７

ｄａｔ４：	１２

７文字

予告通報先（１～３）

異常通報先（１～３）

⚠ 注意 ❗

通話先は、ＰＨＳカードに登録した順に、１～３とします。

１３．２ 駐車場データ呼び出し

現在の駐車場データを見たい場合。このメールを外部電話機より送信します。

１２３４５６

ｄａｔ５：１

メール着信後すぐに、駐車場データがメール送信されます。

受信した電話機のディスプレイの表示は

機能操作方法☞ ９－２.項目のＰメール通報を確認

１４．使用上の注意

１４．1設置上の制限

ＰＨＳは無線機である事から、空中線状況が悪いとか、基地局に割り当てる、ＰＨＳ総処理数を、利用オーバーなどで、１００％の送受信が保証されているものではありません。通信状態を出来る限り、保証するために、アンテナＹマークは１本か２本が常時点灯している地区でないと、設置出来ません。

１４.2制限タイマ

無線通信為、通話途中で勝手に切れたり、ビジィトーンがしなくなったりすることが有る為、着信後３分で通話を強制終了する様にしています。

１４.3マイナス空車

補正台数設定を行った後に、契約車入庫が増え、契約車の空き台数が０になった時、一般車空台数がマイナスになってしまいます。この場合一般車が出庫し、空き台数が０から１になるまで、満車解除はしません。

［６項目の駐車台数の動きを参照してください］

１５.通常モードでの通報先変更方法　（追加説明）

１１-1.動作説明

外部電話機より、ＫＳ－５０に電話をかけて下さい。

Ａ．着信　Ａ０．音声登録されている駐車場名を案内します。
この音声の途中で「０」を入力します。

Ａ１．“ＩＤを設定します。”と音声で案内されます。

Ａ２．現在の設定されている内容を、異常通報先・満車予告通報先の順番で、音声で案内します。
（例．”１番“ ”２番“と、続けて案内します。）

Ａ３．外部電話機から下記表を参考にし、「１」～「９」の何れかの番号を選んで、入力します。

外部電話機よりの入力番号	異常通報先設定番号	満車予告通報先設定番号
「１」	1	1
「２」	1	2
「３」	1	3
「４」	2	2
「５」	2	1
「６」	2	3
「７」	3	3
「８」	3	1
「９」	3	2

Ａ４．新しく設定された内容を、異常通報先・満車予告通報の順番で、音声で案内します。
（例.「２」を入力すれば、”１番“”２番“と、続けて案内します。）

Ａ５．終話（電話を切って下さい。）

【注意事項】

この行為は一時的なものです。電源が切れると初期の設定にもどります。
通報先の確認をしたい場合は、Ａ２の時点で電話を切って下さい。

1608110－2

駐車場ＰＨＳ端末　　取扱説明書

発行責任者

株式会社ケイシン
〒812-0012　　福岡市博多区千代2-2-43

修理などのお問い合わせ先